

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年5月15日

【四半期会計期間】 第49期第1四半期(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

【会社名】 高橋カーテンウォール工業株式会社

【英訳名】 TAKAHASHI CURTAIN WALL CORPORATION

【代表者の役職氏名】 取締役社長 高橋 武治

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋室町3丁目2番15号

【電話番号】 (03)3271 1711(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理部長 影山 信博

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋室町3丁目2番15号

【電話番号】 (03)3271 1711(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理部長 影山 信博

【縦覧に供する場所】 高橋カーテンウォール工業株式会社大阪支店
(大阪府大阪市北区中之島三丁目2番18号)
株式会社大阪証券取引所
(大阪府大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	会計期間	第48期 第1四半期 連結累計期間		第49期 第1四半期 連結累計期間		第48期	
		自 至	平成24年1月1日 平成24年3月31日	自 至	平成25年1月1日 平成25年3月31日	自 至	平成24年1月1日 平成24年12月31日
売上高	(千円)		1,127,026		661,157		6,228,413
経常利益又は経常損失()	(千円)		99,589		39,089		353,329
四半期(当期)純損失()	(千円)		106,012		18,604		384,557
四半期包括利益又は包括利益	(千円)		82,619		8,819		350,198
純資産額	(千円)		3,301,292		3,043,507		3,034,743
総資産額	(千円)		11,334,450		10,362,797		9,979,217
1株当たり四半期(当期) 純損失()金額	(円)		12.17		2.14		44.14
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)						
自己資本比率	(%)		29.1		29.3		30.4

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第48期第1四半期連結累計期間及び第48期、第49期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期(当期)純損失であるため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社については、連結子会社であった株式会社TAWは、平成25年2月13日に清算終了しました。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間における、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、昨年12月の政権交代後の経済政策への期待を背景とした円安進行や株価の回復、堅調な個人消費等明るい兆しが見られるものの、企業の設備投資への姿勢は慎重であり、欧州の金融不安もあって先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の下建設業界におきましては、東日本大震災の復興需要は期待できるものの、労務費や資材価格の上昇等厳しい経済環境が続くなか、当社企業グループは徹底したコスト管理と営業・生産の総合力で受注高確保を図っております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は6億61百万円（前年同四半期比41.3%減）、営業利益31百万円（前年同四半期は1億36百万円の営業損失）、経常利益39百万円（前年同四半期は99百万円の経常損失）、四半期純損失18百万円（前年同四半期は1億6百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

PCカーテンウォール事業

差別化商品での受注促進等による単価の改善と工場稼働率維持に努め、減収となりましたが利益を確保できました。

この結果、売上高は5億3百万円（前年同四半期比18.3%減）、セグメント利益は43百万円（前年同四半期は1億38百万円のセグメント損失）となりました。

アクア事業

自社仕様の可動床の採用増加を目指して営業活動をしておりますが、売上高は伸びませんでした。

この結果、売上高は80百万円（前年同四半期比35.4%減）、セグメント損失は9百万円（前年同四半期は0百万円のセグメント損失）となりました。

システム収納家具事業

スリム化を進めており、減収となりました。

この結果、売上高は9百万円（前年同四半期比96.5%減）、セグメント利益は0百万円（前年同四半期は10百万円のセグメント利益）となりました。

建設事業

厳しい事業環境は続いており、営業力不足から売上を伸ばすことはできませんでした。

この結果、売上高は68百万円（前年同四半期比39.0%減）、セグメント損失は4百万円（前年同四半期は7百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態の分析

資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は103億62百万円と前連結会計年度末と比較して3億83百万円の増加となりました。これは主に未成工事支出金が6億13百万円増加したことで、現金預金が2億10百万円減少したことによるものであります。

負債の状況

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は73億19百万円と前連結会計年度末と比較して3億74百万円の増加となりました。これは主に長期借入金が8億36百万円増加したことで、短期借入金が5億26百万円減少したことによるものであります。

純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は30億43百万円と前連結会計年度末と比較して8百万円の増加となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が27百万円増加したことで、利益剰余金が四半期純損失の計上により18百万円減少したことによるものであります。

(3) 事業上および財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社企業グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

特記事項はありません。

(5) 従業員数

連結会社の状況

当第1四半期連結累計期間において、著しい増減はありません。

提出会社の状況

当第1四半期累計期間において、著しい増減はありません。

(6) 生産、受注及び販売の実績

当第1四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売実績の著しい変動はありません。

(7) 主要な設備

当第1四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい変動及び主要な設備の前連結会計年度末における計画の著しい変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	36,500,000
計	36,500,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年3月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年5月15日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	9,553,011	9,553,011	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	9,553,011	9,553,011		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年3月31日		9,553,011		4,542,968		

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成24年12月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 841,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,641,000	8,641	
単元未満株式	普通株式 71,011		
発行済株式総数	9,553,011		
総株主の議決権		8,641	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式625株が含まれております。

【自己株式等】

平成24年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 高橋カーテンウォール 工業株式会社	東京都中央区日本橋 室町3丁目2番15号	841,000		841,000	8.80
計		841,000		841,000	8.80

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に準拠して作成し、「建設業法施行規則」(昭和24年建設省令第14号)に準じて記載しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年1月1日から平成25年3月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年1月1日から平成25年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、八重洲監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	607,502	397,080
受取手形・完成工事未収入金等	641,930	870,850
未成工事支出金	1,748,034	2,361,987
その他のたな卸資産	53,927	72,137
その他	68,425	91,993
貸倒引当金	1,050	-
流動資産合計	3,118,769	3,794,050
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	956,063	850,134
土地	1,554,864	1,391,699
その他(純額)	100,745	91,521
有形固定資産合計	2,611,673	2,333,356
無形固定資産	103,615	101,957
投資その他の資産		
投資有価証券	171,190	199,806
投資不動産(純額)	2,538,472	2,497,618
保険積立金	683,278	671,659
その他	799,215	811,215
貸倒引当金	46,997	46,867
投資その他の資産合計	4,145,158	4,133,432
固定資産合計	6,860,447	6,568,746
資産合計	9,979,217	10,362,797
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	777,070	689,748
短期借入金	3,839,109	3,312,113
1年内償還予定の社債	414,900	398,200
未成工事受入金	311,639	726,512
工事損失引当金	114,100	107,710
引当金	33,738	55,816
その他	272,536	178,479
流動負債合計	5,763,094	5,468,579
固定負債		
社債	424,000	275,000
長期借入金	44,443	881,068
役員退職慰労引当金	312,634	312,634
引当金	1,526	-
その他	398,776	382,008
固定負債合計	1,181,379	1,850,710
負債合計	6,944,473	7,319,290

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,542,968	4,542,968
利益剰余金	1,367,865	1,386,470
自己株式	153,899	153,927
株主資本合計	3,021,202	3,002,570
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,633	35,057
その他の包括利益累計額合計	7,633	35,057
新株予約権	5,908	5,880
純資産合計	3,034,743	3,043,507
負債純資産合計	9,979,217	10,362,797

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
完成工事高	1,127,026	661,157
完成工事原価	1,103,244	485,404
完成工事総利益	23,782	175,752
販売費及び一般管理費	160,582	144,199
営業利益又は営業損失()	136,800	31,553
営業外収益		
受取利息	184	159
受取配当金	935	-
投資有価証券売却益	5,550	492
保険解約返戻金	36,740	9,683
投資不動産賃貸料	26,400	30,417
鉄屑売却収入	6,296	6,626
その他	16,812	8,479
営業外収益合計	92,920	55,859
営業外費用		
支払利息	19,840	21,674
投資有価証券評価損	958	-
不動産賃貸費用	19,664	17,708
その他	15,245	8,940
営業外費用合計	55,708	48,322
経常利益又は経常損失()	99,589	39,089
特別損失		
固定資産売却損	-	49,870
固定資産除却損	44	0
特別損失合計	44	49,870
税金等調整前四半期純損失()	99,633	10,781
法人税、住民税及び事業税	2,601	3,412
法人税等調整額	3,777	4,411
法人税等合計	6,378	7,823
少数株主損益調整前四半期純損失()	106,012	18,604
四半期純損失()	106,012	18,604

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	106,012	18,604
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	23,392	27,424
その他の包括利益合計	23,392	27,424
四半期包括利益	82,619	8,819
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	82,619	8,819

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)
(連結の範囲の重要な変更) 連結子会社(株)TAWは、平成25年2月13日に清算終了しましたので、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除いております。

【会計方針の変更等】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)
(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更) 当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

受取手形割引高

前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
233,594千円	93,139千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)
減価償却費	46,638千円	40,361千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	PCカーテン ウォール事 業	アクア事業	システム収 納家具事業	建設事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	615,794	124,094	275,550	111,587	1,127,026		1,127,026
セグメント間の内部売上高 又は振替高				13,683	13,683	13,683	
計	615,794	124,094	275,550	125,270	1,140,709	13,683	1,127,026
セグメント利益又はセグメント損失()	138,564	638	10,761	7,149	135,590	1,210	136,800

(注)1 セグメント利益又はセグメント損失()の調整額 1,210千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	PCカーテン ウォール事 業	アクア事業	システム収 納家具事業	建設事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	503,206	80,151	9,722	68,076	661,157		661,157
セグメント間の内部売上高 又は振替高				465	465	465	
計	503,206	80,151	9,722	68,542	661,623	465	661,157
セグメント利益又はセグメント損失()	43,426	9,631	353	4,949	29,199	2,354	31,553

(注)1 セグメント利益又はセグメント損失()の調整額2,354千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
1株当たり四半期純損失()金額	12円17銭	2円14銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失()金額(千円)	106,012	18,604
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純損失()金額(千円)	106,012	18,604
普通株式の期中平均株式数(株)	8,712,444	8,711,233

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 5月14日

高橋カーテンウォール工業株式会社
取締役会 御中

八重洲監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 齋 藤 勉 印

代表社員
業務執行社員 公認会計士 三 井 智 宇 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている高橋カーテンウォール工業株式会社の平成25年1月1日から平成25年12月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年1月1日から平成25年3月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年1月1日から平成25年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、高橋カーテンウォール工業株式会社及び連結子会社の平成25年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。